※令和４年度以降入学生用

学校番号	2102

令和５年度　国語科

教科	（学）自己実現のための日本語	科目	日本語実践ｂ	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

外国にルーツがあり、より実践的な日本語学ぶための授業です。
クラスのレベルに合わせた内容にしますから、安心してください。
日本社会で生きていくためにより実社会に即した内容の日本語を学びます。
予習復習があるときもあります。必ず取り組むようにしてください。

２　学習の到達目標

（１）生活の上で必要なグローバリゼーションや多文化社会への理解を高めている。
（２）地域とのつながりをとおして、他者とのかかわりや社会の現状などを考えている。
（３）社会貢献することにより、自己認識を深めている。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・さまざまな言い回しを体得し、場面に応じて使い分けることができる。 ・文法･語彙の運用能力を強化する。	・現在の社会で起きている問題や各国が抱える問題について考え、自分の意見を発表することができる。 ・言語を問わず、情報に対する自分の考えや意見をまとめて相互理解を図ることができる。	・日本語が持つ特有の表現などを母語継承語と比較しながら認識を深めるとともに、言葉を通して他者や学校生活にかかわろうとする態度を養う。 ・日本語でのコミュニケーション力をつけ、日本で生き抜くための情報収集力や発信力をつけようとする態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	学校の多言語化	・学校を言語のバリアフリー化する ・学校紹介について考える	a:学校内の標識をわかりやすく書き換えられる b: 誰にでもやさしい表示方法を考えて実行している c: 誰にでもやさしい学校にするための工夫を考えようとしている	・小テスト ・単元テスト ・発問	・発問 ・記述の点検	・作品 ・観察 ・感想文
	他種学校との交流	・地域の学校の児童生徒と交流する ・言語資源を活用する	a: 相手に合わせた言語レベルを使っている b: 交流相手が楽しめるプログラムを考えられている c: 積極的に児童生徒と交流しようとしている	・小テスト ・単元テスト ・発問	・記述の点検 ・スピーチ	・スピーチ ・観察 ・感想文
	地域の多言語化	・区役所における表示や案内を言語のバリアフリー化する	a: 区役所の標識や案内板をわかりやすく書き換えられている b: 誰にでもやさしい表示を考え実行している c: 誰にでもやさしい地域にするための工夫を考えようとしている	・小テスト ・単元テスト ・発問	・発問 ・記述の点検	・作品 ・観察 ・感想文

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度